

マクロ経済の変化

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

新規マネーシステムへの移行は、経済における新しい現実を行うものである。これらはグローバル化と貿易協定における新しい世界経済の形成を行うものである。

マクロ経済システムの転換は、新しい世界という現実への変化を有するものである。その変化への対応は、自己現実のそれら新しい現実への順応を要求されるものである。

これらは現状のインフレや通貨価値が新しいシステムへ移管されることであり、これらは経済というライフラインが、現状の革命的变化とともに、これら現実へ収束することなのである。

これらは世界経済の統一を模索するものであり、世界金融資本がそれを所有することは容易に理解できるものである。

これら現実を否定することは不可能である。現実を生きる以外選択はないのである。そのためこれら現実への対応が、要求されるものであり、システム化される現実に対して、時代対応がそれを可能とできるものである。

企業のプレゼンスは、常に先端性とともに可能なのである。これらは未来という新しい技術文明が存在するのである。

これらは国家において新しい財政環境などが用意されているのであり、国家財政の状況などとともに、新しいシステムへの転換が存在するのである。

これらは、新しい社会という現実も予測できるものである。新しい世界の創造という現実が存在するのである。

これらへの自己の主体性は、これら現実に対して自己経済システムの健全性を提案できるものである。

しかし大幅な変化という現実、否定することはできないのであり、経済がシステムへ組み込まれることは、それら現実を補佐することになるのである。